

健康ポイント事業の導入で健康づくりを

答 国保加入者及び人間ドック受診者を対象に検討する



浦崎 みゆき 議員



集団健診の風景。多くの町民の方が集団健診受けています

問 健康ポイント事業導入を国保加入者及び人間ドック受診者を対象に検討しているということであるが、どの様なかたちで検討しているか。

民生部長 医師会からも提案があり、国保の特定健診受診者、人間ドックの受診者に対してポイントを付与するという話し合いが行われている。医師会、南城市、豊見城市と連携を取りながら次年度以降も話し合いを進めて行く。

重度心身障がい者(児)医療費助成、現物給付の実現を

問 県が来年8月を目途に自動償還払という計画があると聞くと状況はどうか。

保健福祉課長 県は平成30年度から自動償還払になるということで、本町も県に準ずる考えである。

問 本来は現物給付を望むが状況はどうか。

民生部長 重度心身医療費助成の方々、保護者の方々が役場に來るのも大変だという声がある。現物給付にするべきと県に要綱改正を依頼していたが、受け入れられていない。引き続き県に要請していきたい。

正しいラジオ体操の普及を

問 「正しいラジオ体操」という言葉を聞いたことがあるか。自己流でやると効果が半減してし

まうとも言われている。健康づくりの観点も含め推進していく考えはないか。

教育部長 本町にも全国レベルの指導者がいる。その指導者にふるさと発見ウォークラリーの前に正しいラジオ体操を実演してもらっている。私も教育長も参加して、その違いを認識したところである。今後も指導者を活用したラジオ体操に取り組んでいきたい。

問 全国レベルの指導者によるラジオ体操のDVDを作成し団体等にプレゼントできないか。

教育部長 DVD並びに今後の各種大会を通してできるか検討していきたい。

こんな質問もしました

○子育て支援について
○自治体クラウドについて